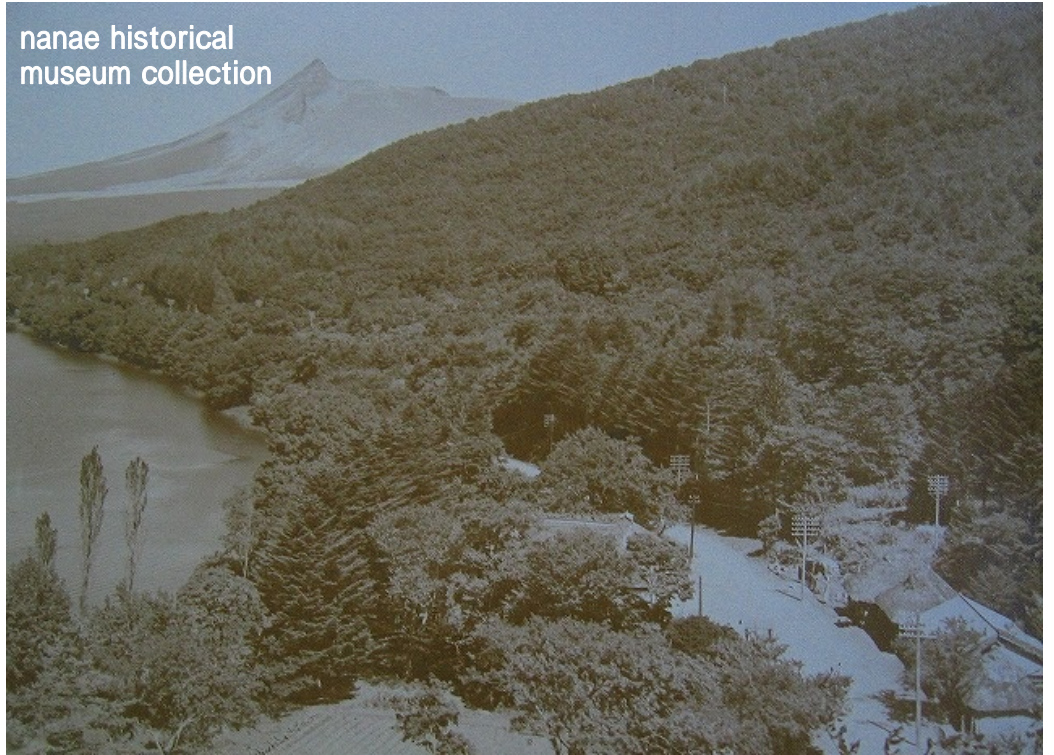


Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより
第41号

nanae historical
museum collection



ななえ古写真物語

VOL. 41

白鳥の沼

~名前の変わった湖~

昭和初期?

西大沼 じゅんさい沼周辺

七飯町の観光地大沼には、「大沼三湖」と呼ばれる大沼・小沼・じゅんさい沼を含む大小様々な湖沼群が形成されている。その為、七飯町は海をもたない町であるにもかかわらず、渡りの中継地として羽を休める多くの水鳥を観察することができるのである。

今年の冬は、何十年ぶりかに水力発電の取水が行われなかったこともあって、セバット周辺が結氷した。さらに鳥インフルエンザの拡大を懸念し、給餌行為が制限された為か、白鳥の飛来が極端に少なかった。ある意味では、本来の大沼の姿を見ることが出来たともいえる。

今では、セバットが白鳥の飛来地として有名になっているが、彼らが飛来するようになったのは、昭和40年頃からと考えられている。要は、小沼から取水するようになり、氷結しなくなったからである。

ところで、七飯町に「白鳥の沼」と呼ばれていたところがあったのを知っているだろうか？それが、現在のじゅんさい沼である。おそらく百年以上前は、じゅんさい沼周辺に多くの白鳥が飛来していたのだろう。また、大沼と小沼をあわせて「大沼」と称し、じゅんさい沼を「小沼」と呼んでいた時期もあったようだ。

それでは、なぜ現在はじゅんさい沼と呼ばれているのか……。その訳は、明治5年にここを訪れた開拓使次官（後に長官になる）だった黒田清隆という人物が、この湖にジュンサイが多く生えているのを見つけ、名付けたと言われている。もし仮に、彼がジュンサイではなくワカサギに心を奪われたとしたら、わかさぎ沼になっていたのだろうか……。

冗談はさておき、上の写真は昭和初期頃と思われるじゅんさい沼周辺の様子である。奥には駒ヶ岳の雄姿、左側にじゅんさい沼、そして右側には、時代を感じさせる電柱が沿道に並び、何軒かの茅葺民家が見られる。この電柱は、点々と森の中へ続いていることから、道路が駒ヶ岳側へ向かって延びていることが窺える。

現在、大沼方面へ向かうのに、ほとんどの人が、国道5号を北上し、トンネルを抜けると思うが、当時は峠を越えるルートだった。それが明治5年に開削された「札幌本道」と呼ばれる道で、現在は防災道路として当時の面影を残しながら利用されている。

鬱蒼とした緑、のどかな風景。どこかに忘れてしまった世界が、この一枚に描かれているような気がしてならない。

23日

今年度のジュニア探検クラブの開講式を行いました。例年だと、第1回目は「知らない他校の子もいるし緊張……」という雰囲気なのですが、歴史館館長から会員証を受け取り、その後の木を使ったキーホルダー作りのころには、すでに打ち解けた様子で、和気あいあいといった感じ！薄く輪切りにした木に、自分の名前や好きな絵を描いて、仕上げにニスを塗って完成です！

午後は学芸員の案内による館内見学へ。普段は入ることのできない収蔵庫では、間近で見る資料のはく製や刀の迫力に驚き、「すごーい！」「本物だ！」と盛り上がっていました。

これから1年間、みんなで楽しい思い出をいっぱい作ろうね！



オリジナルキーホルダー



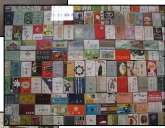
2011年版[桜MAP]配布中です。

2011年版桜MAP(カラー版・限定50部)を5月10日から歴史館にて配布しています。桜守の先生監修の下、新たに[松月][北鵬][湖上の舞]などを追加しました。

こんなに桜があったなんて！と驚くかもしれません。桜MAPで、あまり知られていない七飯町の春を発見してみませんか。



企画展[モノにみるデザイン]を開催しています。



クイズもあるよ！

4月28日から6月6日まで、企画展を開催しています。モノに施されたデザインをテーマに、鉄瓶や漆器、寄贈された日本全国のお店のマッチコレクション(800個以上!)などを展示しています。

また、体験コーナーでは展示している伝統文様を、実際に作れる切り絵遊びや、Tシャツ型の型紙に、和紙を切り貼りして作るオリジナルTシャツデザインができます。ぜひ挑戦してみてください。

6月の予定

1	水	夜の博物館
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	企画展CLOSE
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	古文書講座
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	ななえの史跡見学会
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	ジュニア探検クラブ
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	

6月の休館日はありません。

さび落としをしていただきました。

5月12日、友の会の皆さんが鍋などのさび落としをして下さいました。たくさんの方にお集まりいただき、ありがとうございました！(A)



編集後記 ~tawagoto~

ようやく日差しに春を感じているが、先日開催した観桜会では、まだ咲いていない桜が多く、個人的に登った横津岳では、花や虫たちの姿もまばらだった。暦の上では、もう夏なのだが、まだまだ夏は先といった感じだろう。

でも、館の周りでキビタキやオオルリなどの野鳥が見られたり、心地よい風が颯爽と駆け抜けるのを肌で感じると、改めて、自然と街のバランスのよい七飯町の魅力を感じている。(やまだひさし)

Richart ~ピチャリ~ 第41号

平成23年5月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp